

# 「いきものみっけ」その後

～前号(4号)で紹介した「いきものみっけ」の夏の調査対象「ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、クマゼミ」の実施結果について環境省生物多様性センターから発表がありました。(10月16日)

初鳴き日(山口県)		
	平成7年	平成20年
ミンミンゼミ	7月18日	7月10日
ツクツクボウシ	8月 3日	8月 9日
クマゼミ	7月17日	7月15日

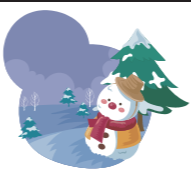

※ 初鳴き日の特定方法について(平成7年、平成20年とも)は、1つの都道府県で3件目の報告があった日が、その都道府県での初鳴き日とされています。

※ 実施結果の詳細は、環境省生物多様性センターのHPをご覧ください。  
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10292>  
 「いきものみっけ」は、現在は冬を実施中、春(ウグイスの初鳴き日等)も実施されます。

## イベント情報

自然環境学習拠点施設の行事予定です。

イベントによっては申し込み、参加費が必要なものがあります。詳細は各施設にお問い合わせください。

	秋吉台エコ・ミュージアム TEL 08396-2-2622	きらら浜自然観察公園 TEL 0836-66-2030	つのしま自然館 TEL 083-786-0430
1月	11日(日) 冬眠のコウモリを見る 25日(日) 森の昆虫教室・冬	11日(日) 楽しいバードウォッチング入門 24日(土) 冬の天体観測	
2月	8日(日) 火道を歩き、秋吉台を考える 22日(日) 大理石と化石	8日(日) 楽しいバードウォッチング入門	14日(土) 自然観察会～貝類、漂着物に関する観察会～
3月		8日(日) 楽しいバードウォッチング入門	

※ 山口県ホームページ「自然とふれあう行事の一覧について」では、その他にも多くの場所で実施される行事を掲載しています。是非、ご覧ください。

ホームページには、山口県庁→組織(環境生活部 自然保護課)→お知らせ(自然とふれあう行事の一覧について)から入ることができます。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15600/gyouzi/kyouseigyousi.html>



### 山口県からのお知らせ

支援員の皆様に、Eメールで自然環境の保全活動や講演会等について情報提供をしています。まだEメールアドレスを登録されていない方は、自然保護課までご連絡ください。また、住所変更がある場合もご連絡をお願いします。

(連絡先) 〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県環境生活部自然保護課 担当: 林  
 電話: 083-933-3050 FAX: 083-933-3069

発行元: (財) 山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター  
 〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)  
 TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720  
 URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>



# 支援員だより

発行者: 山口県・財団法人山口県ひとづくり財団

## もくじ

- P1 支援員の活動だより
- P2 第2回研修会の様子、天然記念物
- P3 第3回研修会の様子、山口県の希少野生生物保護対策の実施状況
- P4 イベント情報、その他

## 支援員の活動だより



正木 葉さんより

支援員の方の活動のきっかけや様子を伝えるコーナーです。今回活動だよりを送っていただいた正木さんは「麻里布川」を調べてこられた学生さんです。では、正木さんからのおたよりをどうぞ。

麻里布川は岩国山に水源を発生し、室の木立石を東に流れ新港の海に注ぐ、4.24kmの川です。最近ではだんだん水質が良くなってきたとはいえ、未だに団地の排水がそのまま流れ込むのでとても汚いです。私は小5から五年間、この川について調べてきました。きっかけは従兄弟が学校で川について調べたことを聞き興味を持ったことでした。初めは何をしていいのかわからず、本を読んでパックテストと指標生物の二つで水質検査をしてみることにしました。始めてみると川の中には予想以上にたくさんの生き物がいるのだという発見など、すべてが面白く気付くと五年間も続けていました。

私はこの研究をきっかけにたくさんの貴重な経験をさせていただきました。そのうちのひとつにKODOMOラムサールがあります。KODOMOラムサールとは、湿地をテーマに子どもたちが学習や体験、参加した湿地の紹介や交流、子ども会議などを通し環境について学ぶというものです。私は一昨年の中国ブロック大会と昨年の全国大会に参加し、たくさん子どもたちと一緒に改めて環境について考えることができました。

『命の源 みんなの湿地(たから)～ぼくらがつなげる命の輪』

これは全国大会で参加者が自分たちで話し合い作ったメッセージです。



水は日本中どころか世界中を繋ぐものです。また命の源でもあります。しかし私たちが意識する機会はなかなかありません。当然のように出た『命の源』という言葉に、とても感動しました。KODOMOラムサールの参加者のほとんどは小学生でしたが、私たち高校生や大人こそが学び今一度考えてみるべきことなのではないかと思いました。

私は今年で高校を卒業します。これからも環境について学びつつ、これまで教えてもらったたくさんの方のことを今度は私も伝えていくことができたらと思います。

「指標生物」とは・・・水質(汚染の度合い)の指標となる生物です。水質とそこに生息する生物種との間に関係があることを利用し、生物種から水質を判定する際に用いる生物です。サワガニやカワナ、ゲンジボタル、タニシなども指標生物となっています。

「パックテスト」とは・・・簡易水質測定器のことです。試薬がセットされた容器の中に調べたい水を入れ混ぜ合わせると色がつきます。指定の反応時間で標準色と比べ濃度を測定するものです。